

新潟県剣道連盟会報

第 95 号

平成 26 年 8 月 16 日

発行

新潟県剣道連盟

事務局 〒950-0916
新潟市中央区米山 5 丁目 1-25
小林ビル 4 階

TEL 025-244-3481

FAX 025-244-3482

http://niigata-kenren.com

ご挨拶

一般財団法人新潟県剣道連盟
代表理事・会長 齋藤 榮



本日は、評議員の皆様には、本年2月3日に一般財団法人新潟県剣道連盟として発足

後、はじめての評議員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

まずはこの機会に、皆様から財団法人組織の要石であり、それゆえ重い責任を背負う評議員を先般お引き受けいただいたことに対し御礼申し上げます。

ところで財団法人組織に於いては、組織運営・執行のすべてを理事会が担うことになっております。そのため、ともすると代表理事（理事長または会長）が専制的になるとか、または業務執行担当の専務理事や常務理事が運営に於いて恣意的独善的になるとか、さらには、凡庸で使命感に欠ける上に、事なかれ主義の理事達によって理事会が構成されると、一般的に財団組織の第一義であるコンプライアンス（法令順守）の戒めが忘れられ、独走する恐れを常に内包しているのが理事会であります。そのことは近年世間を騒がせ

た、日本相撲協会や全日本柔道連盟の騒動と文科省の強制介入を思い出していただければお分かりになるかと思いますが、そこで理事会が常に法令や社会的良識を考慮し、コンプライアンスの精神に立って、健全な組織運営に当たるようチェック機能、並びにガバナンス（統治・統制）機能のシステムとして設けられているのが評議員会であります。それゆえ、評議員会が本来期待されるその役割と責任を十分果たしておれば、世間の耳目を引くような財団法人の恥ずべき事案の殆どは防ぐことができるというよい訳であります。

特に、評議員の皆様は、外部審査委員の厳しい審査を経て、誠に重要な役割をお引き受けいただいた方々でありますので、そのあたりのことを十分ご理解いただき、誇りと自信を持って、4年の任期いっぱいお務めいただくよう切にお願いする次第です。さて、本日、理事会として皆様にご審議いただくのは、25年度の事業並びに決算の承認の件と、二人の理事の辞任に伴う新理事の承認の件が中心であります。はじめのことではありまじょうが、なにとぞいささかなりとも不明または疑わしいところがあれば遠慮なくご指摘

専務理事就任にあたって



専務理事 久我 正作

先般の臨時理事会におきまして、専務理事に選任されました久我

でございます。本年2月3日、「一般財団法人新潟県剣道連盟」が設立され、再スタートをきった直後での専務理事ということで、誠に大役ではありますが、会員皆様のご理解とご協力を得ながら、その任を果たしてまいりたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

さて、私は警察組織に入り、10年間剣道特練員として毎日訓練をしておりましたが、特練を降りてからは業務に追われ、あるいは怠惰な性格から、剣道も年間数回の稽古と高段者大会や県大会をたまに見学に行く程度で、20数

年間は剣道から遠ざかっておりました。こうした中で、平成22年の多額使途不明金事案をマスコミ報道で知った時は、衝撃的でありました。何故という憤りとこれまで純粹に剣道が好きで日々稽古に打ち込んでいる会員はじめ小・中高校生やその保護者の胸中にはいかばかりかとの思いがかけ巡りました。

その後、断片的ではありますが、弁護士、公認会計士等の指導による真相の解明と一方では機構改革に向けたプロジェクトチームによる改革が並行して進められているということを関係者から聞き及んでおりました。そしてこのたび念願であった法人化が実現したわけでありますが、この間、関係者の方々の、まさに血のにじむような努力の賜物であったことは、新潟県剣道会報第94号の特集記事に掲載されており、ご案内のとおりであります。

剣道を志している人の思いは一つであります。純粹に剣道が好きで剣道をやりたい。このことに尽きると思えます。組織のことや人間関係に憂えるようなことがあってはならないと考えています。長い間、剣道から遠ざかっていた私にとりまして、すべて白紙の状態で、平成26年度事業計画並びに収支予算書を確実に把握しながら、新潟県剣道連盟の憲法とも言うべき「定款」に沿って、愚直に各種事業を運営してまいりたいと考えております。会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。専務理事就任のあいさつといたします。

一般財団法人設立 祝賀会の報告

5月25日に新潟東映ホテルにおいて、来賓として前田利雄元会長、毛島勇名誉会長、鈴木信嘉公認会計士、高野泰夫弁護士、内野信昭新潟県教育庁保健体育課課長、馬場潤一郎新潟県体育協会会長、萬歳憲重新潟県体育協会常務理事の各氏の他、新剣連を代表する百二十五名の方々にご出席をいただき、一般財団法人新潟県剣道連盟設立祝賀会が開催されました。

冒頭、齋藤会長より来賓の方々へ今日のめでたい日を迎えるに当たり感謝の言葉が述べられ、引き続き四年前から今日に至るまでの所感が述べられました。

その後、前田利雄、毛島勇、鈴木信嘉の各氏に感謝状の贈呈が行われ、御三方より丁寧な謝辞と祝辞を頂戴いたしました。

来賓の方々からの祝辞のあと萬歳憲重氏の乾杯の音頭で祝宴となり、大いに懇親を深めました。最後に清水勝新剣連相談役の万歳三唱で盛会裏に終了しました。



一般財団法人設立祝賀会風景（会長あいさつ）

会議報告

◆定例理事会

4月20日(日) 新潟ユニゾンプラザ

- 1、開会宣言
- 2、会長挨拶
- 3、議長選出
- 4、議事録署名人選出 那須野求馬 監事・桑原 勉監事
- 5、審議
 - (1) 第1号議案
平成25年度事業報告
※評議員会へ報告事項
 - (2) 第2号議案
平成25年度決算報告、監査報告
※評議員会へ審議事項
 - (3) 第3号議案
平成26年度事業計画(案) (決)
※評議員会へ報告事項
 - (4) 第4号議案
平成26年度予算(案)
(「加盟団体負担金の決定について(案)」含む)
※評議員会へ報告
 - (5) 第5号議案
定例評議員会の開催日時、場所の決定(案)
 - (6) 第6号議案
平成25年度新潟県剣道連盟表彰(案)
 - (7) 第7号議案
公認審判講習会「佐渡会場」の開催(案)
 - (8) 第8号議案
※ 評議員会へ報告
剣道昇段審査料の改訂(案)

※ 評議員会へ報告

(9) 第9号議案

- ・理事の辞任等に伴う理事候補の推薦
- ※臨時(書面) 評議員会へ緊急提案
- 第1号議案、第9号議案決議承認
- 6、報告

(1) 県立武道館建設関係

建設場所・規模等について本間専務理事から説明報告があった。

(2) 平成26年度新剣連強化委員会役割分担(理事交代に伴う担当部門の変更)

加藤治強化委員長から、高体連役員変更に伴い新理事候補 堀広輝氏が、竹内知宏理事と交代するのに伴い、少年(高校生)強化担当委員(国体・BSN大会兼全国選抜大会)に堀広輝氏が担当する旨の説明があった。

◆定例評議員会

5月25日(日) 新潟東映ホテル

- 1、開会宣言
- 2、会長あいさつ
- 3、功労者表彰
- ・第68回国民体育大会高校女子の部 第3位入賞の功労
 - 熊谷 真純(新潟商業)
 - 大塩 綾子(〃)
 - 相田真奈美(〃)
 - 深口 佳奈(〃)
 - 河田 茜(〃)
- 監督 重野 太志(高田北城教員)
- コーチ 藤塚 肇(新潟商業教員)
- コーチ 犬飼 創(五泉高校教員)
- ・第23回全国高等学校剣道選抜大会女

子の部
第3位入賞の功労 新潟商業高校

- ・河田 茜
- ・植木ひかり
- ・大野由美子
- ・石田 友紀
- ・羽田 優華
- ・近藤 瑞紀
- ・岩倉 薫子

監督 藤塚 肇

- 4、議長選出及び議事録署名人の指名
- 5、報告事項

- (1) 平成25年度事業について
- (2) 平成26年度事業計画について
- (3) 平成26年度収支予算書について
- (4) 加盟団体負担金の決定について
- (5) 剣道昇段審査料の改訂について
- (6) 公認審判講習会「佐渡会場」について
- (7) 県立武道館建設関係について
- 6、決議事項
- 平成25年度決算（損益計算書類）承認の件
- 7、閉会のあいさつ
- 8、閉会宣言

◆臨時理事会

5月25日(日) 新潟東映ホテル
平成26年度 専務理事の選任にあたり満場一致で久我理事が選出されました。



事業計画

●新剣連主催・共催・審査会関係

＜8月＞

3日(日) 昇段審査会（初段～五段）（上越市）

3日(日) 昇段審査会（初段～四段）（阿賀野市）

10日(日) 昇段審査会（初段～五段）（南魚沼）

11日(月) 昇段審査会（初段～四段）（新潟市）

16日(土) 定例理事会（新潟市）

17日(日) 昇段審査会（初段～四段）（三島）

24日(日) 第39回新潟県少年少女剣道大会（新潟市）

31日(日) 新潟県選手権大会兼全日本選手権県予選並びに高段者大会（長岡市）

＜9月＞

7日(日) 昇段審査会（初段～四段）（警察）

13日(土) 県合同稽古会上越会場（上越市）

27日(土) スポーツフェスティバル壮年剣道大会（長岡市）

27日(土) 第53回新潟県居合道大会（栃尾）

＜10月＞

18日(土) 全剣連後援（審査員対象）剣道指導者講習会

19日(日) 全剣連後援（対象者無制限）剣道指導者講習会（新潟市）

26日(日) 第62回新潟県剣道大会（上越市）

＜11月＞

2日(日) 昇段審査会（初段～四段）（佐渡）

2日(日) 審判講習会（佐渡）

3日(日) 小須戸剣道大会（小須戸）

16日(土) 県合同稽古会中越会場（見附）

＜12月＞

14日(日) 昇段審査会（初段～四段）（長岡市）

21日(日) 昇段審査会（初段～五段）（新発田市）

21日(日) 昇段審査会（初段～四段）（新潟市）

22日(日) 昇段審査会（初段～四段）（新潟市）

＜2月＞

22日(日) 昇段審査会（初段～四段）（新潟市）

22日(日) 全日本都道府県対抗剣道優勝大会県予選会（長岡市）

15日(日) 六七八段受審者講習会（新潟市）

22日(日) 定例理事会（新潟市）

28日(土) 県合同稽古会（新潟市）

22日(日) 中山博道旗争奪剣道大会（地蔵堂）

23日(火) 角田山旗争奪剣道大会（西蒲）

23日(祝) 新潟県実業団剣道大会（新潟市）

＜12月＞

2日(日) 全上越剣道大会（上越市）

15日(土) 16日(日) BSN高校剣道大会兼全国選抜一次予選会（新潟市）

＜2月＞

11日(祝) 建国記念剣道大会（新潟市）

22日(日) 日本剣道形大会（柏崎市）

＜3月＞

21日(土) 白根剣道大会（白根）

29日(日) 飛燕旗争奪剣道大会（燕）

7日(日) 第53回全日本女子剣道選手権大会（兵庫県）

14日(日) 第9回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会（大阪府）

＜10月＞

19日(日) 21日(火) 第69回国民体育大会剣道大会（長崎県）

3日(祝) 第62回全日本剣道選手権大会（東京都）

各種講習会の報告

剣道公認審判員講習会

・4月6日(日) 上越会場

講師 渡邊幹雄・白井吉満・山田義雄・望月憲一・宮下 茂

受講者 150名

認定審査受審者 6名

・4月13日(日) 中越会場

講師 渡邊幹雄・山田義雄・

藤井紳一・久保田幸正・高橋直志
受講者 205名

認定審査受審者 20名

・5月11日(日) 新潟会場

講師 渡邊幹雄・山田義雄・

望月憲一・藤井紳一・山田 茂

受講者 219名

認定審査受審者 19名

・7月6日(日) 下越会場

講師 渡邊幹雄・山田義雄・

望月憲一・藤井紳一・山田 茂

受講者 149名

認定審査受審者 14名

※尚、今年度は11月に佐渡での審判講習会を予定しています。

全剣連第49回東日本剣道中央講習会

・4月5日(土)・6日(日) 東京

参加 久保田幸正(上越市)

藤井 紳一(五 泉)

全剣連第19回剣道女子審判講習会

・5月17日(土)・18日(日) 東京

参加 渡邊 かな(長 岡)

全剣連第52回中堅剣士講習会

・5月21日(水)・25日(日) 奈良・柳生

参加 藤塚 直 鎌士七段(学校)

全剣連第9回女子審判法研修会

(全剣連要請)

・6月7日(土)・8日(日)

参加 内野 葉子(新 潟)

新潟県女子講習会

・6月28日(土) (長岡市南部体育館)

参加者 34名

参加者の声

第52回 中堅剣士講習会を終了して

藤塚 直(鎌士七段)



平成26年5月21日(水)から25日(日)の4泊5日、奈良市中央武道場にて全国の範士の先生方から教士七段を中心とした各県の中軸になる剣士の育成が行われました。私は新剣連より推薦して頂いて参加して参りました。

全剣連副会長の松永先生から講話をいただき、亀井範士の指導法で素振りや約千本。正面や左右面、踏み出し足や股割りなども行い、腕や足の自由が利かなくなるなどの緊迫した雰囲気の中でスタートしました。

島野範士、大嶽範士の審判法、中田範士、松田教士の日本剣道形、上垣教士、千葉教士の木刀による稽古法などわかつているつもりだった部分をより深く学ぶことができました。実技指導では構えや理について作道範士(恩師)から頭の中がいっぱいになるほどの深い指導をいただき、基本や区分稽古では浅野範士、亀井範士の厳しい指導があり肉体的にも、精神的にも追い込まれました。技の稽古では石塚範士から憧れすら感じるほどのお手本をいただき、皆、習得しようとして反復していました。朝と夕の1日2回の稽古では範士の先生方や受講生同士で全力を出

し切る稽古を行うことができました。引き出されて、使われてしまう方が多く身体もバラバラになってしまいました。たが、それでも気を切らずに続けると、後半には納得のいく攻めや打突が出るようになりました。必死の苦しさの中で、逆に心が整い一致していく感じは、「打たれたくない」などの邪念が削られ真剣の一撃のみへの集中に繋がっていくのだと思いました。

この講習会を通じ、剣道の本当に素晴らしい部分を体感することができて時々の初心を見つけることができました。これらを現在勤務している佐渡の初心者軍団をはじめ、剣友の皆様や教え子達、また国体少年の指導にも活かしていきたい新潟県に少しでも貢献できればと考えています。仕事や俗世間から離れ剣道にどっぷりと漬かった充実した時間が持てたことに感謝して修了の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

新潟県女子講習会を終えて

理事 内野 葉子



六月二十八日(土)、十代から六十代までの剣道愛好家四十名が参加して女子剣道講習会が行われました。今年で九回目を数え昨年まで上越で開催されていたこの講習会は今年初めて



新潟県女子講習会風景

長岡地区での開催となりました。昨年に引き続き県内の女性七段五名を講師として、全剣連の審判講習会の伝達講習及び審判実技、そしてお互いの稽古と心地良い汗を流した後は、遅い昼食を摂りながら自己紹介や剣道談義に花を咲かせました。

地域の指導者として子ども達の指導に情熱を燃やしている方、子育てが一段落して数十年ぶりに剣道を始めた方など様々ですが、臨む姿に剣道を愛し、日々家庭や仕事との両立に努力をされている方々に頭が下がる思いでした。

剣道人口の減少が懸念される昨今ですが、新潟でも女性のパワーを大いに発揮して剣道の普及発展に貢献していただけることを期待しています。

地元長岡剣道会の皆様には、会場準備や審判実技の試合者などご協力いただき心より感謝申し上げます。



●剣道	
4月29日(火)	京都
六段	澤野 一雄 58 (新潟市)
5月10日(土)	愛知
七段	天井 俊明 55 (五泉市)
五十嵐 忠 69 (新潟市)	
5月11日(日)	愛知
六段	窪田 純 35 (新潟市)
佐藤 友典 37 (佐渡市)	
5月6日(火)	京都
教士	西山知太郎 65 (上越市)
小林日出志郎 57 (新潟市)	
伏見 重男 55 (新津)	
丸山美恵子 53 (上越市)	
鎌土	
角山 徳郎 70 (小千谷)	
田辺 一彦 59 (地藏堂)	
齋藤 隆夫 64 (新潟市)	

●居合道	
5月3日(土)	京都
八段	吉田 哲夫 75 (居合道)
七段	駒形 健一 67 (居合道)
6月6日(金)	千葉
新剣連関係	
2月23日(日)	新津
四段	小原 徹 21 (新潟市)
大橋 佑允 22 (新津)	
齊藤 信幸 23 (新潟市)	
中川 直人 32 (新潟市)	
渡辺 大 37 (小須戸)	
五十嵐正哉 42 (横越)	
6月22日(日)	鳥屋野
四段	小柳 一輝 20 (小須戸)
吉野 浩貴 22	
伊藤 豪佑 26 (糸魚川)	
川瀬 信彦 30 (糸魚川)	
富樫 徹 39 (村上)	
風間 栄孝 44 (白根)	
増子 宗厚 64 (村上)	
伊藤 桃子 37 (新潟市)	
五段	高橋 吉孝 28 (新潟市)
小林 芳和 29 (警察)	
武井 将義 31 (警察)	
中村 長生 36 (佐渡市)	
弦巻 立 42 (新潟市)	
高野 克弘 52 (長岡)	
関 肇 60 (新潟市)	

合格者の声

居合道八段位に合格して

居合道部会 理事長

吉田 哲夫



この度、京都での居合道八段位審査会に於いて夢にも思わなかった最高位の「八段」に合格させていただきました。

この望外の喜びは、終生忘れ得ないものとなりました。これも偏に草間師匠始め、諸先生方の温かいご指導と御支援の賜物と心から感謝申し上げます。

ここに至るまでの私の八段受審を思い返しますと、審査当日が近づくにつれて名状し難い緊張感に覆われ、異常な状態での受審でした。今回は五回目の受審でしたが、七十五歳という年齢、また家庭の事情もあって「今回が最後」のつもりで全力投球で受審致しました。特に悪い緊張感を解消するために待機中に『逆式呼吸』を繰り返すことに専念致しました。お陰で心身とも自然にリラックスした状態で審査に臨むことができました。その結果が合格に結びついたものと思っております。

今後この栄誉に驕ることなく、稽古に励み斯道発展に微力ながら尽力致す決意であります。

これからも変わらぬご指導御支援を

賜りこれからも変わらぬご指導御支援を賜りますようお願い申し上げます。

ようやく手にした七段

新潟市剣道連盟

五十嵐 忠 69歳



「夢はかなうもの」との信念で挑戦し続けてきた剣道七段に14回目で合格することができました。

平成26年5月10日名古屋市中で開催されました剣道七段審査会は天候に恵まれ、外でイメージトレーニングをすることができました。迷わずに面を相手より早く打ち抜けようと心に決め午後の部の呼び出しを待ちました。

最初の組に呼び出され、すぐに準備をするよう言われました。今回は十分トレーニングをしたせいか、動揺することもなく「よし！面を取りに行くぞ！」との気持ちが高まりました。

最初の相手は蹲踞をした時に頭が下がる男性でした。これは「面が打てる！」と思い立ち上がり攻め合いの後、素早く打ち間に入り「面」に行きました。相手も面でしたが、この相面は私の方が早いと感じました。

振り返り2本目も同じく相面でし

た。3本目も面にきたので「胴」を抜きました。その後は我慢、我慢でしのぎました。

次の相手は私の一人目の立会いを観ていますが、構わず面に行き、相手は小手でしたが外れて「面」が決まりました。2本目も同じ面を決め、3本目は面にきたところを「胴」を抜きました。そして終了間際に面にきたところを「小手」を抑えました。

※

過去13回の審査は何をやったのかが直後でも分かりませんでした。今回はよく覚えており、稽古の積み重ねが自信になったのだと思っています。

現在、私の一週間の稽古は、新潟市西区の志学館道場で二回、内野剣道スポーツ少年団で二回、大光銀行剣道部で一回の週五日竹刀を握っています。19年間も剣道から遠ざかっていて、悪い癖が染み付いていました。先生方より根気良く指導して頂き一つ一つ直している状況です。今後は剣道七段として恥ずかしくない様、更に精進して行く所存です。皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。



第62回全日本都道府県対抗

剣道優勝大会

4月29日(祝) 大阪市中央体育館

監督 佐藤 好美(県警)
選手

先鋒 菊崎 将史(新潟商)
次鋒 内藤 真澄(中央大)
五将 木村 友哉(新潟市)
中堅 市村 学(上越市)
三将 赤塚 洋紀(県警)
副将 高嶋 純一(上越市)
大将 高橋 直志(学校)

一回戦

新潟 3 | 群馬 1

先 ○菊 崎コ | 鯉 沼
○内 藤メ | 兵 藤
中 ○市 村ド | 宇 野
赤 村コ | 小 竹
高 嶋 × | 川 植
嶋 × | 島 原

大 高橋 | 〇梅 山

二回戦

新潟 3 | 秋田 0

先 ○菊 崎メ | 高 橋
○内 藤メ | 保 坂
中 市 村メ | 鈴 木
赤 塚メ | 金 森
高 嶋コ | 土 田
大 高橋 | 湯 澤

三回戦

新潟 2 | 香川 3

先 ○菊 崎ツ | 安 西
○内 藤 | 森 塚
中 市 村メ | 四 軒 家
赤 塚 | 宮 田
高 嶋 | 〇松本和
大 高橋 | 〇松本政

監督観戦記

選手には、3月2日の予選会で実力ある者が決定したこと、大会での上位進出が期待された。大会では一回戦群馬県、二回戦秋田県に快勝し、ベスト8進出をかけた三回戦に進出した。香川県は過去にも上位進出を果たしている強豪県であるが、絶好調の菊崎、五将の木村が勝ちを収め、前半リードをして後半に引き継いだ。しかし後半に強豪を揃える香川に残念ながら逆転負けを喫し、ベスト8を

逃したものの、本大会は、新潟県剣道界のレベル向上を強く感じる大会であった。
最後に、一般財団法人「新剣連」を発足を機に益々剣道修練の機運が向上することを期待し会場を後にしました。
(監督 佐藤 好美)



快挙
優勝おめでとう
ーぎいますー

7月19日(土)東京・日本武道館で開催された、第6回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会(主催：全剣連・読売新聞社)で、本県チームが見事優勝を果たしました。また、大会の優秀選手に、先鋒の河田茜選手(新潟商)が選ばれました。

第6回全日本都道府県対抗女子

剣道優勝大会

7月19日(土) 日本武道館

監督 石川美奈子 教士 七段
選手

先鋒 河田 茜(新潟商)
次鋒 五十嵐 露(三条)
中堅 松林 里奈(警察)
副将 荒川 紀子(上越市)
大将 町田 朋子(新潟市)
(全試合)

一回戦 シード

二回戦 新潟 2 | 0 沖縄

先 ○河田メ

中 五十嵐

大 ○町田コ

三回戦 新潟 2 | 0 神奈川

先 ○河田メ

中 松林

大 ○町田コ

三回戦 新潟 2 | 0 神奈川

先 ○河田 五十嵐 秋和
中 松林メ 瀬沼
大 ○町田メド 早津 千葉
四回戦 新潟 3 | 0 高知

先 ○河田メ 市川
中 ○松林ド 木村
大 ○荒川メ 松田 坂
準決勝 新潟 2 | 1 大分

先 河田 小松
中 ○松林コ メ 笠谷
大 町田 岩本 古手川
代表戦 ○町田コ 古手川

決勝 新潟 1 | 0 茨城
先 河田 長田
中 ○松林ド 相馬 鍋山
大 町田 落合

監督観戦記

本県はシードにより、二回戦沖縄との試合から始まりました。先鋒河田選手の手の気迫あふれるキレイな動きで鮮やかな面が決まり、今大会の勝利へ導く一本となり、チームの大きな原動力と



試合終了後の新潟県チームの笑顔

なりました。三回戦は昨年優勝の神奈川と対戦。先鋒の相面が決まると、中の3人が引き分け、大将町田選手が頭一つ大きい相手に対し、出ばな面と引き胴の2本を決め、チームに勢いと安心感を与え、士気がより一層高まりました。準々決勝の高知戦では先鋒が引き面、次鋒五十嵐選手と中堅松林選手が面返し胴、副将荒川選手が引き面と各自の得意技で先取することができ、益々勢いに乗りました。準決勝の大分戦ではどちらも譲らない互角の勝負となり大将の代表戦にもつれ込みました。開始一分、町田選手は臆することもなく攻め、相手の居ついたところに入り込んで見事な小手を決め、決勝戦へと駒を進めました。



決勝戦は一昨年優勝の茨城。先鋒、次鋒と引き分け、勝敗は中堅に託されました。今年の警察の関東大会個人でも優勝し、力をつけている松林選手は終始落ち着いた試合運びをし、中盤で相手を引き出しているが、胴が見事決まり一本勝ち。副将、大将がその1本を上がり、優勝に輝きました。また河田選手は優秀選手にも選ばれ、今後の活躍が大いに期待されるそうです。

今回の勝因は、5人が最後まで勝ちに對する気持ちを崩すことなく、次に繋がる丁寧な試合に務めたからこそだと思います。選手は終始「凜」とした表情をしており、安心して試合に送り出すことができました。また会場には新潟商業剣道部員、ご家族、ほか大勢の方より応援にかけつけていただき、選手の力添えとなりましたこと感謝申し上げます。

最後に、本大会は第一回目と今回(第六回)で五年ぶり2度目の優勝に輝くことができました。新潟県の剣道レベルの向上を実感でき大変嬉しく思います。(監督 石川 美奈子)

地域通信



佐渡市剣道連盟

普通救命講習Ⅱ

心肺蘇生・AEDの

講習会を開催しました！

5月17日 両津消防署

菊池 忠彦

3月22日(土)両津総合体育館の剣道場にて稽古中、参加者が突然倒れ心肺停止状態となりました。皆が慌てるなか、救命講習を受けていた1名がAEDにより迅速な対応を行い、救急車が



救命講習をうける両津・新穂支部の
会員及び家族、剣士会保護者

到着する前に呼吸が回復しました。さらに、病院にて意識が確認されました。数週間後には退院し、現在も元気に生活され昇段を目標にしています。

この体験を通じて救命の初期対応の重要性を改めて感じました。そこで会員・家族・保護者に呼び掛け救急法の講習会を行うこととなりました。当日は15名の参加者が4時間の講習を受け、全員が修了証を頂くことができました。いざという時には適切な対応ができると思います。また各支部にも実施するように通知してあります。これからも定期的に講習を受けたいと思います。

部会だより

◆杖道部会

杖道部会事務局 下間 頼龍

六月七日。黒埼地区総合体育館で杖道部会総会が行われました。今年度は理事長、事務局長が代わり、吉田哲夫部会長の下、理事長に小杉耐三、事務局長に下間頼龍という体制になりました。

午後は長野から講師に招聘した太田安昭七段の指導で、今年度最初の合同稽古会が行われました。県内4支部から16名の参加があり、基本技を中心に熱心な錬成が実施されました。

部会行事としては7月13日(日)昇級昇段審査会・合同稽古会、10月には三条グリーンスポーツセンターでの合同稽古会が控えています。

原稿募集

広報委員会では、地域短信コーナーの情報を募集しています。

支部同士での合宿交流や稽古会、地域に根差した伝統の大会など、各支部連盟の活動状況などをお知らせください。



編集後記

第6回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会における本県代表選手の第1回以来2度目の優勝に、選手、監督、関係者の皆様に対して心より喜び申し上げます。連覇を目指しさらなるご精進を期待いたします。

さて、新役員体制になり2回目の会報発行となりました。前号より昇段審査会の合格代表者及び、審査員代表者からご寄稿いただいておりますが今号も居合道、剣道より合格者の声を掲載しております。皆様の参考になれば幸いです。広報委員会としては2名と少数ではありますが専務理事、事務局と力を合わせてよりよい情報発信の出来る広報誌となるようがんばっていきたいと思います。会報誌へのご意見、ご要望又は掲載希望記事等、ございましたら通信方法は問いませんので事務局までお寄せください。(大図)



新潟県剣道連盟のQRコードです。
ご利用下さい。